

文部科学省委託事業

「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」

文化服装学院

第三者評価報告書

第三者評価委員

滝沢勝則（株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ取締役）

依田素味（日本経済大学経営学部教授）

森慈郎（大阪文化服装学院理事長）

深田勝久（香蘭ファッションデザイン専門学校副校長）

I 評価結果

【判定】

評価の結果、学校法人文化学園 文化服装学院は、「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証・向上の推進」事業における第三者評価委員会が定める評価基準を満たしており、適切な学校運営が行われていると認定する。

II 総評

文化服装学院はファッション教育のパイオニアとして、日本を代表するファッション専門学校であり、国際的評価機関により、世界2位のファッション教育機関という評価を与えられた学校である。国内のファッション業界に留まらず、世界で活躍する事を視野に入れたグローバル教育は、世界各国で活躍する卒業生が全てを物語る。また、学校法人文化学園全体としてみると膨大な資産を有しており、財務基盤は潤沢である。

基本理念は学校教育法に基づき明確に定められており、優秀な業界人を育成するという使命を十分果たしている。特筆すべき点は、全国のファッション系の学校でスタンダードであり、ファッション産業界の全ての分野の要求を満たす幅広いカリキュラムを有しており、その教育には文化服装学院オリジナルのテキストが使用されている。

国内のみならず、全世界を対象に幅広く学生募集をし、留学生を積極的に受け入れ、入学判定は、厳正な合否判定会議により実施されており、正確且つ、公平な選考が行われている。

学校内部で中堅から若手教職員も交えた「10年委員会」をはじめ、各種専門委員会が組織化され、定期的に会議が行われ、事業計画を策定するなど組織的に横断的な確認が行われるように体制が整っている。また、人事・給与に関する規程は完備され、育児休業や定年後の再雇用についての規程も明確化され、教職員への周知されている。

将来の職種を視野に入れた各専門課程はいずれも活動方針をはじめ、教育目標・育成像・教育内容・評価方法は明確に定められており、カリキュラム内容は定期的な教育課程編成委員会を開催し、関連業界からの提言等を得て、より実践的な授業内容となるよう随時専門課程毎に検討が行われる体制が整っている。

連携授業は専門課程毎に懸案に対応する努力をし、学生が関われるように優秀な教師陣、専門分野の講師陣が業界で必要な知識と技術を余す事なく力を発揮し指導にあたっている。学生の感性の向上に必要な教育設備は、他に類を見ない充実したものである。

就職に関してキャリア支援室を窓口にも、求人企業数・求人数・職種は卒業生数を遥かに上回る募集があり、就職を希望する学生に対し、担任ならびにキャリア支援室専属の職員が連携して細かな指導を行う体制が整備されている。

資格・資格取得率は専門課程単位で執り行う検定は勿論、自主的に受験する者には最大限対策を行い合格率も高い。今後は、全専門課程、高度な職業人を育成する為と、学生自

身の知識の習熟度を測る為に、授業の一環として検定を取り扱う等の検討を進める必要がある。また、世界で活躍する卒業生が多くいるにも関わらず、卒業生の就職、転職、再就職支援に至っては外部に委託されており、卒業生の組織化は現在未整備であり、数多くの優秀な卒業生という人的資源活用の面からも、今後有効なネットワークを形成し、教育活動に活かす事が期待される。

教員研修等は、規定に則り様々な階層の教員が受けるよう整備され、研修を通して教員全体で常にアパレル業界の現状を把握する努力をし、各専門課程に特化した技術・知識を十分有した教員による教育が行われており、授業アンケートは教科ごとに執り行われ、アンケート結果は授業改善の為に、教員間で情報を開示できる環境が整っている。

特筆すべきは大規模学校でありながら中退学率の低さである。これは各専門課程が担任制度を取り入れており、各教員によるきめ細やかな学生指導はもとより学園常駐のカウンセラーの存在が大きい。給付型・貸付型いずれも学生の経済的側面に対応する学校独自の支援体制が整備され、また、十分な学生が入居できる寮も完備されている。

基本的に保護者会、保護者説明会などは特に設置していないが、今後は保護者宛に行事予定を発行する事を検討中である。学校は会員制同窓会組織「すみれ会」を有している。会員は在学中と同様に、教育施設（図書館、ファッションリソースセンター）の利用が可能であり、更に、保養施設の割引利用が出来る。

防災・安全管理も十分満たされ、個人情報保護規程は明確に整備され、学園全体で厳重な管理が行われているなど、法令及び専門学校設置基準を順守している。学校評価は自己点検・評価報告、内部評価、学校関係者評価を実施し、ホームページで適切に情報公開を行っている。

結論として、全国の服飾系学校を牽引してきた日本最大且つ最高峰のファッション専門学校であり、日本のみならず世界のファッション業界に対する人材育成面での貢献度は極めて高い。前述通り、世界的評価機関により、世界第 2 位のファッション教育機関としての評価も得ており、名実ともに、今後も日本のファッション教育を指導する立場で有り続ける教育機関と言える。